



(2021. 4. 26)発行

## 英語教室 はじまりました

園長 外館 昭良



4月20日(火)に第1回目の英語教室を行いました。英語のイレイン先生には子ども達も何度かお会いしているのですが、久しぶりに顔を合わせたので少し照れ気味で恥ずかしそうにしていました。

最初に「Where is ○○?」とイレイン先生から出欠の確認をしました。名前を呼ばれたお友だちは「Here」といって手を上げるのですが、最初の内は恥ずかしそうに手を上げるだけでしたが、だんだん慣れてきて元気に「Here!」と言って手を上げる様子が見られました。

次に今日の天気の確認をしました。窓から見える空を見ながら「cloudy」「rainy」「windy」「snowy」「sunny」、今日の天気はどれかを皆で確認しました。ちなみに今日は「sunny」でした。

そして、その次は色を探すゲームをしました。教室の中で英語の色の名前を確かめて、遊戯室へ移動して、ゲームの始まりです。イレイン先生が出すカードの色を見て聞いて遊戯室の中に同じ色があるかを探すゲームです。ブロックやフラフープ、色々なところにある色を見つけイレイン先生に



報告して「Good job!」と褒められて嬉しそうにしていました。

最後は英語の絵本です。『Go away Big Green Monster!』という仕掛け絵本で、だんだんモンスターの顔が出てきて、最後はモンスターがいなくなっちゃう絵本です。不思議な絵本の世界に入り込む姿見られました。

英語の後は、イレイン先生も一緒に散歩に出かけました。また次も楽しみですね(^^)!



## お絵描き

絵を描くことには個人差があるので、他の子と比べてはいけませんね。これから書くことは、大まかな目安ですので、ご承知置き下さい。

1歳頃から、子どもにクレヨンを持たせると、点々や線を描くことがあります。これは、『絵』を描いているのではなく、手の運動をしているのです。手を動かすことが楽しくて、そこにクレヨンという道具を持たせると、どんどん手を使うようになります。たくさん手を動かすことで手の可動域が広くなり、次第に手の動きをコントロールできるようになってくると、曲線が出るようになります。



2歳頃になると個人差はありますが、筆圧も強くなり、しっかりとした丸(○)を描けるようになる子が増えてきます。そして、「何を描いたの?」と質問すると、描いた○に意味を付けて「これ、ママ。」「これ、パパ。」とお話してくれることがあります。この時に「ママを描いてくれたの。うれしい!ありがとう!」と受け止めてあげると、話が弾み、絵をたくさん描くようになり、言葉もどんどん増えていきます。逆にせっかく描いた絵を褒めたり、「こうやって描くんだよ。」などと教え込もうとすると、絵を描く楽しさを失ってしまうかもしれ

れないので、注意が必要です。

お絵描きが好きになり、十分に殴り描きを楽しむことで、しっかりとした線を描けるようになります。

3歳頃になると、1枚の紙の中に○を沢山描くことがあります。これをファンファーレと呼ぶことがあります。家族のみんなを○で描いたり、たくさんのお友だちがいる意味があります。ファンファーレを描いている時の子どもの頭の中は、喜びで溢れているのかもしれない。

3歳から4歳にかけて、○の中に目や口を描くようになります。これを『頭部人間』といいます。

そして、頭部人間に手足が生えて『頭足人間』へ進化していきます。

○ ⇒ 『頭部人間』 ⇒ 『頭足人間』の絵の発達過程は全世界共通という話を聞いたことがあります。不思議ですね(^^)!

絵を通してコミュニケーションを沢山取り、話を受け止め共感する事で絵を描く楽しさを感じると、お絵描きが大好きになります。皆さんも絵を通してお子様とお話を沢山してみてください(^^)!



## 【お知らせとお願い】

間もなくゴールデンウィークになります。お出かけなど計画されている方もいらっしゃるかと思います。音更町からは、引き続き、感染を防ぐ行動の徹底・定着へのご協力をお願いするとの連絡が出されています。

皆さん、お出かけの際は、事故や感染予防に十分に気を付けて、良い休暇をお過ごしください。

